

会 議 名		第四回渋谷区小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会
日 時		2025 年 5 月 21 日（木） 13:30～14:40
場 所		原宿外苑中学校 コンピューター室
出席者	事務局（渋谷区） 区	教育委員会事務局次長 未来の学校担当課長 教育政策課 学校施設整備第一係、第二係 計 5 名
	事務局（事業者） 明豊	明豊ファシリティワークス株式会社 計 2 名（オンライン計 3 名）
	渋谷区小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会 委員	原宿外苑中学校 校長、副校長 千駄谷小学校 校長、副校長 計 15 名（欠席：8 名） 学校・地域関係者
資料		・第四回渋谷区小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会資料

内 容（カッコ内は発言者） ※発言者は、出席者欄の略称により記載します。	
1. 開会 ・ 半数以上の委員に出席いただいているため、会を開会します。（区） ・ 今年度最初の建て替え準備委員会の開催のため、新しい委員の方の紹介を行いました。（区） ・ 委員長挨拶（原宿外苑中学校 校長） 昨年度から引き続き、ご意見を頂きながら良いものを作っていけるようにご協力いただきたいと思います。	
2. 議題 （１） 建て替え準備委員会スケジュールについて ・ スケジュールの説明を行いました。（区） ・ これまでの建て替え準備委員会の振り返りとして、各回議題の概要を説明しました。（区） （２） 第三回建て替え準備委員会の振り返り ・ 第三回建て替え準備委員会の振り返りとして、頂いた意見と検討時期の説明を行いました。（区） （３） 第四回議題 ＜建物配置について＞ （以下、明豊より説明） ・ 計画中の学校は、現状の原宿外苑中学校に対して約 2.7 倍、現状の千駄谷小学校と原宿外苑中学校の合計に対して約 1.5 倍を予定しています。 ・ 配置検討を行った建物規模は、延床面積約 16,900 m²、地上 6 階で想定しています。渋谷区の整備方針に沿った豊かな空間を確保するために、既存の学校より建物の必要面積は大きくなっています。 ・ 建物配置は、A 案：校舎北側、B 案：校舎西側、C 案：校舎南側、D 案：校舎東側について比較検討を行いました。C 案は校舎棟により校庭に日影が最も生じること、D 案は日影規制により建設不可であることから、A 案と B 案の検討を深度化しています。 ・ A 案と B 案について、体育エリアを独立させるか、一体とするかで校舎と校庭の配置を検討しています。B ②案：校舎西側体育エリア一体の場合、校庭は概ね整形で既存校庭より若干広く、トラックコースは既存同等に 150m を計画できます。一方で他の案は校庭が既存同等に確保できず、トラックコースを計画することも難しいです。以上より、B ②案をおすすめの配置案として提示しています。 ・ 各配置案について「児童・生徒」、「地域開放」、「車両動線」の検討を行っています。北側道路は西側に向かって上がっていますが、学校敷地と同レベルになる北側中央付近を正門とすることで考えています。車両動線は、既存と同様に西側を想定しています。 ・ 「小中学生が一緒に登下校をすることを考えると、北側の歩道が狭いのでは」というお話を事前にいただいています。対策として敷地内に児童・生徒が一時的に溜まれる空間を設けたり、敷地内の一部を歩道上空地とする方法などが考えら	

れたりするため、設計段階で検討をしていきます。（区）

<学校施設の機能ゾーニング>

- ・機能配置の考え方を説明しました。管理諸室を1階に配置し職員室から校庭が見えるようにし、2～3階に教室、4階に特別教室、5階に体育館、プールを配置する想定をしています。調理室は既存プールの部分に配置を想定しています。（明豊）
- ・機能ゾーニングは、設計者によって提案が変わってきます。機能ゾーニングは参考にご覧いただき、本日は建物配置について意見を伺いたいと考えています。（明豊）
- ・5階の体育館を避難所として使用する場合は、階段の他に、停電時でも非常用発電機によりエレベーターを利用可能とする想定です。（区）

（質疑応答）

- ・正門の位置について、現在の正門の位置は水没する場合があること、交差点の近くは危ない場合があること、更にバス停があることを配慮し検討していただきたいです。説明の中にもありましたが、歩道が狭いため、敷地に少し入ったところまで歩道にするなど、児童・生徒が危なくないようにしていただきたいです。（委員）
- ・避難所として体育館を使うとのことですが、防災備蓄倉庫も計画されるのでしょうか。（委員）
⇒ご認識の通り、防災備蓄倉庫についても計画します。（区）
- ・現在の校庭は、体育館側の近くが寒くなります。建設工事に伴い整地をすることで解決できるのでしょうか。（委員）
⇒現在の校庭で体育館側の近くが寒くなるのは、恐らく、体育館の影の影響だと思います。（委員）
⇒現在の校庭にも雨の貯留設備や排水機能があるようですが、老朽化や泥の蓄積により機能が弱まっているので水はけが悪くなっているのではないかとこの話を聞いたことがあります。（委員）
⇒水はけの良い人工芝や雨水貯留層を設ける予定なので、水はけは改善されると考えています。日影についても設計段階で考慮できると考えています。（区）
- ・体育館は5階設置で決定なのでしょう。故障等でエレベーターが動かない場合も考えられ、5階だと不便ではないでしょうか。別の場所も使えるという考えはあるのでしょうか。（委員）
⇒新しい学校は避難所機能を前提に整備するため、エレベーターも高い耐震性を有した設備とし、非常用発電により停電時にもエレベーターは稼働する計画です。全体の計画としては、小中一貫教育の連続性を支える教育環境を整備し、かつ、校庭を十分に確保するため、体育館を上層階に配置していますが、同時に、避難所としての機能についても十分に考慮しており、学習環境と地域施設との両立を図る施設計画としています。なお、体育館を上層階に配置している理由としては、校舎と体育館を一体の建物として計画するにあたり、体育館は柱のない大空間であるため、柱が必要になる1階には配置がしにくいと考えています。なお、1階にも避難できる場所を確保するよう計画していきます。（区）
⇒その場合は、色々な地域から避難された方を区分けするためにも、1階に受付が必要だと考えます。（委員）
- ・北側の道の勾配に対して、敷地全体を上げることは出来ないのでしょうか。上げることができれば水没の懸念もなくなるのではないのでしょうか。（委員）
⇒地盤レベルや道路との擦りつけの詳細は設計段階で詳細に検討していきます。（区）
- ・校庭の土の入れ替えをして、水はけを良くするという説明が以前ありましたが、行うのでしょうか。（委員）
⇒人工芝を敷く前に地盤改良を行うことで水はけを良くしたり、雨水貯留槽を設置したりする予定です。（区）
- ・避難所のトイレはどのような計画となるのでしょうか。（委員）
⇒現在はマンホールトイレですが、衛生面や防犯面で課題もあると認識しているため、学校内のトイレを非常時にも使えるように計画する予定です。（区）
- ・配置案の比較表で見合いになるというのは、どことの見合いのことを言っているのでしょうか。（委員）
⇒西側のマンションとの見合いが一番近いと考えています。（区）
⇒距離があり、そこまで影響がないとは思いますが、配慮は必要だと思います。（委員）
- ・地盤レベルを変えると容積を稼げるのでしょうか。（委員）
⇒現時点の計画で容積率には余裕がありますが、日影規制と高度地区の規制により建築可能高さが決まっています。

30m の高さ制限に対し、現在は 28m 程度の計画で更に 1 層増やすことは難しいです。（明豊）

- ・ 様々なご意見をいただきましたが、今後計画を進める配置案は B②案校舎西側・体育エリア一体案でいかがでしょうか。（区）
⇒一同了承。水はけや避難所等の課題は引き続き検討してください。（委員）

（４） ハード面以外の検討について

（以下、区より説明）

< 検討スケジュールについて >

- ・ 渋谷区小中一貫教育校の整備について、検討スケジュールを中心に説明を行いました。
- ・ 現在検討中の基本計画は、今年度中に完成予定です。また、原宿外苑中学校敷地の既存校舎の解体および建設開始時期については、先行している広尾中・松濤中の工事期間が当初予定を超えて 3 年以上となる状況のため、ロードマップから 1 年遅れて令和 11 年度の予定です。
- ・ 校名、校章、校歌については、渋谷本町学園設立時と同様の手順を踏むことが想定され、完成の 2 年前頃から検討を開始する予定です。
- ・ 学校選択制については、神宮前小や鳩森小、代々木山谷小の一部の児童が小学校入学時から一貫校を選べるようにしてほしいという意見を踏まえ、検討中です。開校年度に 6 年生となる学年は、現時点では令和 9 年に入学する子供であり、選択制については、令和 8 年度の夏以降の周知を予定しています。
- ・ 現在の検討スケジュールは、昨今の施工者の人材不足や建築業界の働き方改革による労務時間の縮減により、工期延伸となるケースが全国的に生じている影響を鑑みながら、検討時期や周知の時期は見直す予定です。
- ・ 学校の特色については、区としての教育政策の方向性を踏まえつつ、地域特性等を考慮し、その時々々の時流に合わせて検討していきます。

< 千駄谷小学校跡地について >

（以下、区より説明）

- ・ 千駄谷小学校跡地は、周辺校建て替えのための代替校舎として利用します。また、代替校舎としての利用が終了した後は、「渋谷区『新しい学校づくり』整備方針」に記載のとおり、第 2 グラウンドとしての活用を想定していますが、今後の地域のニーズ等を踏まえ検討します。具体的な検討は、代替校舎としての利用が終了する数年前からになるものと考えています。

< 今後の情報共有について >

（以下、区より説明）

- ・ 建物に関する説明会は、令和 7 年末に、基本計画説明会を実施予定です。その他、実施設計時には近隣住民等に向けた「渋谷区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づく説明会を実施予定です。
- ・ 新入生や保護者への説明会は、各校で毎年開催している新入生向け学校説明会等にて、建て替えの影響を受ける学年に向けて説明予定です。また、Home&School やコドモンへの配信、保育園などとも連携をし、周知に努めます。
- ・ 建て替え準備委員会の資料と議事要旨について、現在は、ニュースレターで建て替えに関する情報を公開していますが、今回の第四回建て替え準備委員会から、ニュースレターに代えて、会議資料と議事要旨を公開する方向で考えています。

（質疑応答）

- ・ 千駄谷幼稚園は今後どうなるのでしょうか。（委員）
⇒千駄谷小学校は建て替え後も近隣小学校の代替校舎として使うため、校舎がある期間は幼稚園も使えます。一方で園児の数が減っているため、別の視点での検討も必要だと考えています。（区）
⇒計画中の学校に千駄谷幼稚園が入ることはないですか。（委員）
⇒予定していません。（区）
- ・ 説明会を行うとのことですが、どの範囲までお知らせをするのですか。（委員）

⇒紙でお知らせするのは建物の高さの概ね 2 倍の距離までと考えていますが、基本計画説明会のため、地域や保護者の方々にも参加していただけるよう、データでの配信・周知はより広い範囲で行う予定です。（区）

- ・ 紛争の予防と調整に関する条例に基づく説明会は、周知日数が短いと言われることが多いため、はやめに周知するなど弾力的な説明会実施が必要ではないでしょうか。（委員）
- ・ 人口が減少に転じる時期が遅くはなっているが、いずれは減少していきます。ロードマップは見直すのでしょうか。（委員）
⇒ロードマップの見直しは今後行っていきます。渋谷区だけでなく、公共工事全体で工事費高騰や工期が延びている状況です。（区）
- ・ 非常に厳しい建設市況であることは認識しています。この計画が止まることはないのでしょうか。（委員）
⇒渋谷区では、学校の建て替えの計画を止めることなく進めていきます。（区）

（５） 次回の主な議題について

- ・ 今年の 7 月上旬から中旬の間で、保護者の方や地域の声を把握し、学校の改築を進める際の参考とすることを目的に、WEB アンケートを実施予定です。具体的なアンケート実施内容は、次回の建て替え準備委員会で説明予定です。（区）
- ・ 基本計画の作成に際して、まず基本計画の素案を作成します。具体的な内容は、次回の建て替え準備委員会で説明予定です。（区）
- ・

4. 閉会

- ・ 第五回建て替え準備委員会は 6 月下旬頃から 7 月上旬に実施予定です。実施日時は、決定次第通知します。（区）